

## 地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	一般社団法人リバーバンク
役職	
氏名	鈴木秀典
着任日	令和5年10月1日

活動月	令和7年6月(着任1年9ヶ月)
主な活動	<ul style="list-style-type: none"><li>・ハイカツthinkの開催</li><li>・協力隊交流(JICA)</li><li>・協力隊交流(南九州市)</li><li>・FUKBOOKイベント参加</li><li>・ローカルベンチャーラボ参加</li><li>・空き家活用の相談</li><li>・移住フェアの視察</li><li>・ゲストハウスの視察</li></ul>

### ・ハイカツthinkの開催

鹿児島県内で廃校活用を行なっている4校、さつま町の「きららの楽校」、南九州市の「リバーバンク森の学校」、鹿屋市の「ユクサおおすみ海の学校」、曾於市の「たからべ森の学校」が集まり、ハイカツthink kagoshimaの第二回を行なった。30名を超える参加者に対して廃校活用の現実を話し合った。



### ・協力隊交流(JICA)

同じ協力隊繋がりJICA。今回のイベントからは先輩協力隊から引き継ぎ、企画から参加し、1泊2日の合宿型の交流会を鹿屋のカピックセンターで行なった。青年海外協力隊ならではの海外を含めた視点を共有しあったり、地域おこし協力隊同士の自分たちの活動を報告しあったりと、横のつながりが深まるイベントとなった。



## 地域おこし協力隊活動報告書

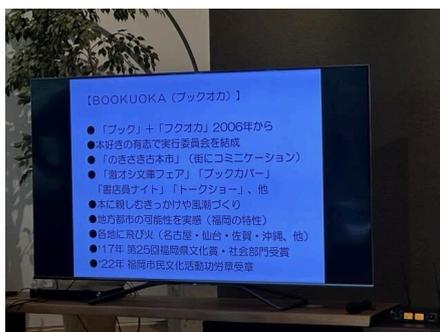
### ・協力隊交流(南九州市)

南九州市の協力隊が岩屋公園に集まり、1泊2日の交流と南九州市の施設を体験してみるというイベントに参加した。今年度から協力隊が2名増えたこともあり、自分たちの活動と悩みを共有しあう、いい機会となった。また、近すぎてなかなか宿泊をしない岩屋公園に泊まることで、自分たちも発信をしていけることから、これからこのような機会を増やしていくといいと感じた。



### ・本屋の視察(FUKBOOKイベント他)

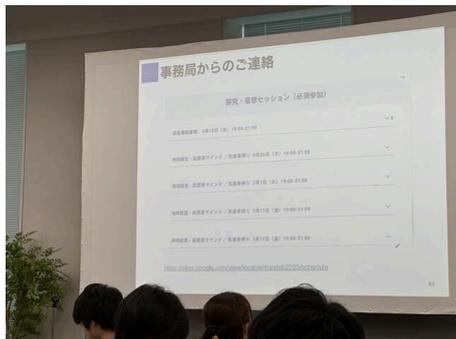
自身の協力隊後の活動として着目している本屋のイベントの参加と、出張時の視察を継続的にこなしている。今後本に触れる機会が少なくなっていくことが街にとってどんな影響を及ぼすのか。大切なものを考えるきっかけにもしていきたいと考えている。



## 地域おこし協力隊活動報告書

### ・ローカルベンチャーラボの参加

全国から地域のプレイヤーが集まり、起業や事業について語り合うローカルベンチャーラボに参加している。これから地域で事業を考えていくにあたり、しっかりと自分の考えの基礎を作り上げながら進んでいきたいと考えている。



### ・空き家活用の相談

空き家をどう活用したらいいか、という相談を多く受けるようになってきている。今後どんどん使ったらいいかわからない空き家が増えていくと感じている。空き家になるときにどのような選択肢を提示できるか。これからも発信を続けていきたいと思う。



### ・移住フェアの視察

東京出張の際にふるさと回帰支援センターに立ち寄り、島根県が主催している移住フェアのイベントに参加してきた。県をあげて移住に取り組む時の配布物や、掲示周りの組み立て方などとても参考になり、また移住希望者の声を聞くことができたので、これからフェアに出ていく際の見せ方を考える機会になった。



## 地域おこし協力隊活動報告書

### ・ゲストハウスの視察

今後移住者や軽観光客が街に出会い、輪が広がっていくことを考えると、様々な宿泊形態の宿が増えていくと考えている。インバウンドの方が多く宿泊する蔵前のnuiに宿泊してきた。自分たちの想いの前に、観光客が何を求めて南九州市まで足を運んでくれるのかを正しく分析し、ニーズにあった宿の形態を探って行けたらいいと考える。

